

Ⅲ 研修会・講座・委員会

1 教師力向上研究研修会事業

① 教師力向上研修会『若い教師のための学級経営講座～秩父師範塾～』

1 ねらい





教職2年次から9年次までの若手教員を対象に、学級経営上の課題についてのワークショップ型研修を通して、望ましい学級集団の育成ができる力を身につけさせる。

2 参加者

教職経験2年次から9年次教員（5年次教員及び臨時的任用教員を除く）のうち、各学校1名程度を学校長が指名する。なお、9年次までに全員が受講するものとする。

3 指導者 上越教育大学 南部昌敏 名誉教授

4 日時・内容等

	日時等	内容
第1回	6月28日（金） 午後3時00分 ～午後4時45分 《芸術文化会館》	演習『学級経営力向上をめざした協働と省察によるワークショップ型研修のすすめ』～学級経営に焦点を当てこれまでを見つめ これからを見通しましょう～ 
第2回	8月6日（火） 午後1時30分 ～午後4時45分 《芸術文化会館》	演習『学級経営力向上をめざした協働と省察によるワークショップ型研修のすすめ』①7月中の学級経営を振り返りましょう ②ファシリテータとその役割 
第3回	8月19日（月） 午後1時30分 ～午後4時45分 《芸術文化会館》	演習『学級経営力向上をめざした協働と省察によるワークショップ型研修のすすめ』①これまでの授業実践を振り返りましょう ②効果的で魅力的な道徳の授業づくりに取り組みましょう 
第4回	11月15日（金） 午後1時30分 ～午後4時45分 《吉田小学校》	研究授業『道徳』 吉田小学校 平澤貴志 教諭 研究協議（ワークショップ型） 講義『秩父師範塾を考える』 

習を行った。

(3) 第3回

大田中学校の相談室見学及び「夏季休業中の業務について」をテーマにグループ別演習を行った。

(4) 第4回

影森中学校の相談室見学及び「ネットを巡るトラブルについて」をテーマにグループ別演習を行った。



(5) 第5回

大滝中学校の相談室見学及び「AD/HDの正しい理解とサポートについて」をテーマにグループ別演習を行った。

(6) 第6回

西小学校を会場に、教育評論家である親野智可等氏の「楽しい家庭のらくらく勉強法で学力アップ」を演題とした講演会に参加した。

(6) 第7回

研修会前半は、臨床心理士の森祐子氏による「交流分析より ストロークパターンについて」をテーマの講義を行い、「ほめあいのワーク」の演習を行った。また、研修会後半は、「3学期の相談活動について」をテーマに進路選択への不安を抱える生徒及び保護者への相談活動をあり方のグループ別演習を行った。

(7) 第8回

一年間の成果と課題について情報交換した。成果については共有して今後の各自の相談活動に役立てていけるよう配慮した。

5 本市における身近な相談員の活動状況（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

相談者の内訳（延べ人数）				相談員が扱った中学生の相談				
相談者	男子	女子	合計	相談項目	実件数	延べ人数		
						男子	女子	合計
小学生	76	118	194	いじめ	8	1	8	9
中学生	1,599	2,114	3,713	不登校	107	573	1,014	1,587
小学生保護者	3	66	69	友人関係	121	54	337	391
中学生保護者	54	454	508	性格・行動	67	238	108	346
教職員	184	247	431	学業等	101	570	271	841
その他	47	75	122	その他	176	168	371	539
合計	1,963	3,074	5,037	合計	580	1,604	2,109	3,713

※市町村配置の身近な相談員活動状況等に関する調査から抜粋（県教委実施）

6 成果と課題

(1) 成果

- 各中学校の相談室見学を実施し、よりよい相談室運営を図らせることができた。
- さわやか相談員同士のグループ別演習により、互いのカウンセリング技能を向上させ、効果的なスキルアップが図れた。
- スクールソーシャルワーカー兼教育相談室長からの指導講評を通して、相談員の悩みの解消が図られ、ひまわり教室や他機関との連携が図れた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- さわやか相談員が求めている情報を的確に把握できるよう、継続的にさわやか相談員から情報収集を行い、教育相談室等との連携をさらに図っていく。
- さわやか相談員の小学校訪問が全中学校区で実施できるように支援していく。

4 チャレンジスクール事業

1 学力向上チャレンジスクール

1 ねらい

児童を年齢の近い世代である学生等ボランティアと触れ合わせるにより、近い将来における生き方を考えさせるとともに、学習活動に関する興味や関心を引き出し、児童に学ぶ楽しさを教え、基礎学力の向上を図る。

2 参加対象

秩父市内小学校4年生～6年生

3 指導者

学生等ボランティア（埼玉県立秩父高等学校生徒）

4 会場

埼玉県立秩父高等学校研修室（図書館2階）

5 参加人数

	8 / 7	8 / 8	8 / 9	応募者 107	
小学生	94	94	103	延 291	(昨年比 +11)
高校生	34	27	25	延 86	(昨年比 -34)

6 日程等

参加児童は、各自の学習課題を持ち寄り、ボランティアの支援を受けながら課題解決に向けた自主学習に取り組む。

期 日	日 程	参加人数	
第1日目 8月7日（水）	9：00～ 9：20 開校式	小学生	94
	9：20～ 9：45 100マス計算	高校生	34
	9：45～11：35 自主学習	合 計	128
	11：45～12：00 終わりの会・下校		
第2日目 8月8日（木）	9：00～ 9：10 朝の会	小学生	94
	9：10～ 9：30 100マス計算	高校生	27
	9：30～10：10 自主学習	合 計	121
	10：10～10：50 校舎内見学		
	10：50～11：10 100マス計算		
	11：10～11：45 自主学習		
第3日目 8月9日（金）	11：45～12：00 終わりの会・下校		
	9：00～ 9：10 朝の会	小学生	103
	9：10～ 9：30 100マス計算	高校生	25
	9：30～11：45 自主学習	合 計	128
	11：45～12：00 閉校式・下校		

7 チャレンジスクールのようす



受付・開校式・閉校式のようす



校舎内見学のようす



自主学习での小学生と高校生との交流のようす

3 個を大切にする研修講座

1 生徒指導・教育相談中級研修会

1 ねらい

本研修会参加者が、校内の生徒指導・教育相談の推進者として必要な理論・技法、態度等を習得し、生徒指導の組織と活動の充実に積極的に寄与できる実践力の向上を図る。

2 参加者 秩父郡市小・中学校教職員の希望者（9名参加）

3 実施の概要

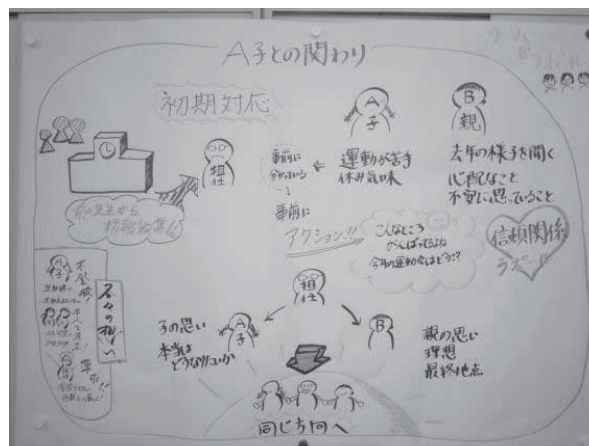
回	日時・会場	指導者・内容
第1日	8月1日（木） 午前9時～午後4時45分 横瀬町民会館	秩父市立尾田蒔中学校 教諭 皆山 和美 ◇開会行事・オリエンテーション ◇講義 生徒指導上の課題解決を目指して ◇面接練習Ⅰ 人間関係づくり、面接の基本
第2日	8月2日（金） 午前9時～午後4時45分 皆野町文化会館	皆野町立三沢小学校 教諭 新井久美子 ◇演習 ソーシャル・スキル・トレーニング ◇面接練習Ⅱ 信頼関係づくりの重要性
第3日	8月5日（月） 午前9時～午後4時45分 長瀬町役場	長瀬町立長瀬中学校 教諭 旭 和久 ◇演習 ロールプレイング ◇面接練習Ⅲ 問題の核心をつかむ
第4日	8月7日（水） 午前9時～午後4時45分 秩父市芸術文化会館	小鹿野町立両神小学校 教頭 高橋 欣也 ◇演習 B方式による事例研修 ◇面接練習Ⅳ 問題解決に向けた指導・援助 ◇閉会行事

4 参加者の感想

○ 研修を重ねるにつれて、自己の教育活動について改めて考えさせられました。「忙しい」ことを理由に、子どもたちの声を受容せずに、教師の意志を勝手に押し付けている自分にも気づかされました。

○ 大事だと思ったことが何点かあります。1つ目は、自分自身の自己開示です。今までは、教師対子どもとか教師対保護者という意識だったことが、人間対人間として、自分から心を開き接することが大事であること。2つ目は、教師も学び続けることが大事であること。

3つ目は、同じように悩む仲間や同僚がいて心強く思ったことです。今回学んだことを生かし、子どもたちと信頼関係を作っていくよう努力していく決意です。



B方式による事例研修より

5 成果と課題

(1) 成果

- 9人という参加者による集中的な研修であったため、参加者一人一人が面接演習等にも十分に時間をかけて研修できた。
- 期日や会場等について他町教育委員会と連携して行うことができた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- 秩父地区の他町教育委員会との連携・協力を図りながら、生徒指導・教育相談上級研修会を受講できるように配慮し、指導者となる人材を育成していく必要がある。

2 さわやか相談員研修会

1 ねらい

- 相談者への適切な支援の在り方を学ぶとともに、学校職員・家庭・関係機関との連携方法についての理解を深める。
- さわやか相談室の効果的な運営方法やカウンセリング技能についての理解を深める。

- 2 参加者 市内各中学校に配置されているさわやか相談員 10名
 スクールソーシャルワーカー兼教育相談員 1名
 臨床心理士 1名 研究所員 1～2名

3 実施の概要

回	月	日	曜	時間	内 容	会 場
第1回	4	1	月	15:00 } 16:30	・辞令交付式 ・さわやか相談員の服務について ・相談業務に係わる事務等の説明	芸術文化会館・ひまわり教室
第2回	5	14	火	15:00 } 16:45	・相談室見学 ・グループ別演習 「4月からの業務を振り返って」 「小学校訪問のあり方について」	秩父第一中学校
第3回	7	11	木	14:30 } 16:40	・相談室見学 ・グループ別演習 「1学期の相談活動を振り返って」 「夏季休業中の業務について」	大田中学校
第4回	9	4	水	14:30 } 16:40	・相談室見学 ・グループ別演習 「ネットを巡るトラブルについて」 「2学期当初の相談活動について」	影森中学校
第5回	10	11	金	14:30 } 16:45	・相談室見学 ・グループ別演習 「AD/HDの正しい理解について」 「2学期の相談活動について」	大滝中学校
第6回	12	18	水	14:15 } 16:45	・教育講演会 「楽しい家庭のらくらく勉強法で学力アップ」	西小学校
第7回	1	22	水	14:15 } 16:40	・講義・演習 「交流分析より ストロークパターンについて」～ほめあいのワーク～ 「3学期の相談活動について」	芸術文化会館・会議室
第8回	3	18	火	15:00 } 16:40	・グループ別演習 「一年間の活動のまとめ」 「来年度に向けての引き継ぎ事項」	芸術文化会館・会議室

※県主催の「市町村配置相談員研修会」は4/23(火)、7/3(水)、8/23(金)、11/6(水)に実施された。

4 研修内容

(1) 第1回

さわやか相談員としての服務の在り方や提出書類の確認などを行った。

(2) 第2回

秩父第一中学校の相談室見学及び「小学校訪問のあり方」をテーマにグループ別演

習を行った。

(3) 第3回

大田中学校の相談室見学及び「夏季休業中の業務について」をテーマにグループ別演習を行った。

(4) 第4回

影森中学校の相談室見学及び「ネットを巡るトラブルについて」をテーマにグループ別演習を行った。



(5) 第5回

大滝中学校の相談室見学及び「AD/HDの正しい理解とサポートについて」をテーマにグループ別演習を行った。

(6) 第6回

西小学校を会場に、教育評論家である親野智可等氏の「楽しい家庭のらくらく勉強法で学力アップ」を演題とした講演会に参加した。

(6) 第7回

研修会前半は、臨床心理士の森祐子氏による「交流分析より ストロークパターンについて」をテーマの講義を行い、「ほめあいのワーク」の演習を行った。また、研修会後半は、「3学期の相談活動について」をテーマに進路選択への不安を抱える生徒及び保護者への相談活動をあり方のグループ別演習を行った。

(7) 第8回

一年間の成果と課題について情報交換した。成果については共有して今後の各自の相談活動に役立てていけるよう配慮した。

5 本市における身近な相談員の活動状況（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

相談者の内訳（延べ人数）

相談者	男子	女子	合計
小学生	76	118	194
中学生	1,599	2,114	3,713
小学生保護者	3	66	69
中学生保護者	54	454	508
教職員	184	247	431
その他	47	75	122
合計	1,963	3,074	5,037

相談員が扱った中学生の相談

相談項目	実件数	延べ人数		
		男子	女子	合計
いじめ	8	1	8	9
不登校	107	573	1,014	1,587
友人関係	121	54	337	391
性格・行動	67	238	108	346
学業等	101	570	271	841
その他	176	168	371	539
合計	580	1,604	2,109	3,713

※市町村配置の身近な相談員活動状況等に関する調査から抜粋（県教委実施）

6 成果と課題

(1) 成果

- 各中学校の相談室見学を実施し、よりよい相談室運営を図らせることができた。
- さわやか相談員同士のグループ別演習により、互いのカウンセリング技能を向上させ、効果的なスキルアップが図れた。
- スクールソーシャルワーカー兼教育相談室長からの指導講評を通して、相談員の悩みの解消が図られ、ひまわり教室や他機関との連携が図れた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- さわやか相談員が求めている情報を的確に把握できるよう、継続的にさわやか相談員から情報収集を行い、教育相談室等との連携をさらに図っていく。
- さわやか相談員の小学校訪問が全中学校区で実施できるように支援していく。

4 チャレンジスクール事業

1 学力向上チャレンジスクール

1 ねらい

児童を年齢の近い世代である学生等ボランティアと触れ合わせるにより、近い将来における生き方を考えさせるとともに、学習活動に関する興味や関心を引き出し、児童に学ぶ楽しさを教え、基礎学力の向上を図る。

2 参加対象

秩父市内小学校4年生～6年生

3 指導者

学生等ボランティア（埼玉県立秩父高等学校生徒）

4 会場

埼玉県立秩父高等学校研修室（図書館2階）

5 参加人数

	8 / 7	8 / 8	8 / 9	応募者107	
小学生	94	94	103	延291	(昨年比 +11)
高校生	34	27	25	延86	(昨年比 -34)

6 日程等

参加児童は、各自の学習課題を持ち寄り、ボランティアの支援を受けながら課題解決に向けた自主学習に取り組む。

期 日	日 程	参加人数
第1日目 8月7日（水）	9：00～ 9：20 開校式	小学生 94
	9：20～ 9：45 100マス計算	高校生 34
	9：45～11：35 自主学習	合 計 128
	11：45～12：00 終わりの会・下校	
第2日目 8月8日（木）	9：00～ 9：10 朝の会	小学生 94
	9：10～ 9：30 100マス計算	高校生 27
	9：30～10：10 自主学習	合 計 121
	10：10～10：50 校舎内見学	
	10：50～11：10 100マス計算	
	11：10～11：45 自主学習	
第3日目 8月9日（金）	11：45～12：00 終わりの会・下校	
	9：00～ 9：10 朝の会	小学生 103
	9：10～ 9：30 100マス計算	高校生 25
	9：30～11：45 自主学習	合 計 128
	11：45～12：00 閉校式・下校	

7 チャレンジスクールのようす



受付・開校式・閉校式のようす



校舎内見学のようす



自主学習での小学生と高校生との交流のようす

8 参加者の主な感想

(1) 小学生

- 高校生がわかりやすく教えてくれて、宿題がおわりました。100マス計算も、はじめは4分くらいかかったけど、最後は2分と縮みました。計算が速くできるようになってよかったです。本当に参加してよかったです。(4年)
- 前までは、勉強がそんなに好きではなかったけど、チャレンジスクールに来たら、楽しくて勉強が好きになりました。とっても楽しい3日間でした。(5年)
- 夏休みの宿題が、チャレンジスクールのおかげでたくさんできました。高校生のお姉さんがていねいに教えてくれました。来年はもう中学生なのでチャレンジスクールには来れないけれど、高校生に教えてもらったことは忘れないです。(6年)

(2) 高校生

- 子どもは好きなので、「教員になればいいかな」ぐらいにしか思っていなかったのですが、チャレンジスクールを通して、教員になりたいという思いが強くなりました。子どもと仲良くするのは「笑顔」が大切だと改めて思いました。自分が笑顔でいることで、相手も自然と笑顔になってくれて嬉しかったです。(1年)
- 3日間で教えることに喜びを感じ、「今までできなかったことができるようになったときの喜びはとてもいいものだなあ」と思いました。終りの会での小林所長のお話もとても参考になりました。子どもたちが「3日間ありがとう、楽しかったよ」と言って帰ってくれてよかったです。人とかかわる仕事をしたい気持ちがさらに強くなりました。(1年)
- 楽しかったけれど、たいへんなこともたくさんありました。わかりやすく教えて理解してもらうのは、やはり難しいことでした。小学生の皆さんは十人十色で、教え方によって理解できたりできなかったり、人それぞれでした。誰にでもわかるような教え方ができなかったのは今回の反省です。しかし今回、自分もうまくやる気を引き出すことができたかと思います。声をかけることでやる気を出してくれるのは嬉しかったし、「ありがとう」と言ってもらえたのが何より嬉しかったです。(2年)

9 成果と課題

(1) 成果

- 昨年度から対象児童を小学校4年生以上とし、本年度も応募者全員の参加が可能となった。
- 100マス計算を効果的に取り組ませ、集中力を持続させることができた。
- 多くの児童が集中して学習に取り組めたという感想を寄せていた。
- 校舎見学を高校生が案内することで、高校への興味を児童に持たせることができた。
- 高校生は将来を見据えた体験ができ、参加者から喜びの感想を多数いただいた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- 3日間を確保することが難しく、次年度は土曜日開催も視野に入れて検討する。

2 小学生と高校生のふれあい体験

1 ねらい

小学生が各専門学科に所属する高校生の支援を受けたり交流を図ったりしながら体験的な学習に取り組み、専門的スキルを身につけたり、新たな発見をしたりすることを通して、学習意欲の向上を図る。

2 参加対象

秩父市内小学生（講座により対象学年の違いあり）

3 指導者

埼玉県立秩父農工科学高等学校教員および生徒

4 会場

埼玉県立秩父農工科学高等学校（各学科での実習室等）

5 参加人数

(1) 内訳（小学生168名、保護者101名、高校教員30名、高校生122名）

	小学生	保護者	高校教員	高校生	合計
① 農業科	26	17	3	20	66
② 森林科学科	15	14	2	5	36
③ 食品化学科	29	18	3	20	70
④ 電気科	19	18	5	20	62
⑤ 機械科	9	6	3	5	23
⑥ 電子機械科	22	14	7	30	73
⑦ ライフデザイン科	18	5	4	12	39
⑧ フードデザイン科	30	9	3	10	52
合計	168	101	30	122	421

6 日程等

月	日	曜	タイトル	内容	対象	募集人数	備考
10	19	土	【①農業科】 草花の寄せ植え体験、サツマイモ掘り体験	花の鉢上げ、寄せ植えとサツマイモほりを体験します。土に触れる良い機会です。	全学年	30人	【時間】 10:00～12:00 【費用】200円
7	20	土	【②農業部】 巣箱を作ろう！	のこぎりやトンカチを使って、巣箱の作製を体験します。家に持ち帰り、巣箱を取り付け、野鳥の観察をしてみましょう。	全学年	15人	【時間】 9:30～11:30 【費用】300円

8	1	木	【③農業部】 ジャム・まんじゅう を作ろう！	ジャム作り、まんじゅう 作りを体験します。 調理方法を覚えて、お 家でも作ってみましょ う。	4年生 以上	30 人	【時間】 13:00～15:00 【費用】500円
7	31	水	【④電気科】 新エネルギー体験 ～風力発電工作～	ペットボトルを利用し て、オリジナル風車発 電機をつくります。	全学年	20 人	【時間】 10:00～12:00 【費用】500円
8	7	水	【⑤機械科】 モデルロケットを 作ろう！	モデルロケットを製作 します。（雨天時はアル ミ缶クラフト&オリ ジナル印鑑の製作を行 います）	全学年	10 人	【時間】 9:30～11:30 【費用】500円
7	30	火	【⑥電子機械科】 風力発電 エコライダーを作 ろう！	動くおもちゃ「エコラ イダー」を製作します 。自然のエネルギーを 体験できる楽しいキッ トです。	全学年	25 人	【時間】 13:00～15:00 【費用】1000円
8	1	木	【⑦ライフデザイ ン科】 オリジナルトート バッグを作ろう！	ミシンを使って、オリ ジナルのトートバック を製作します。	5年生 以上	20 人	【時間】 10:00～12:00 【費用】200円
8	2	金	【⑧フードデザイ ン科】 楽しく簡単、クッキ ング！	「ピッツァ」と「ゼリ ー」作りを体験します 。調理方法を覚えて、 お家でも作ってみましょ う。	5年生 以上	30 人	【時間】 10:00～12:00 【費用】200円

7 小学生と高校生とのふれあい体験のようす

① 農業科 「草花の寄せ植え体験、サツマイモ掘り体験」



② 森林科学科 「巣箱を作ろう！」



③ 食品化学科 「ジャム・まんじゅうを作ろう！」



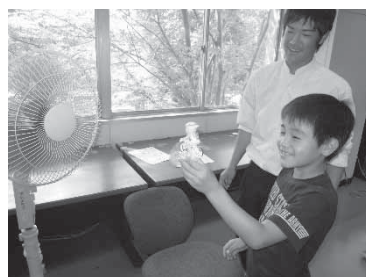
④ 電気科 「新エネルギー体験 ～風力発電工作～」



⑤ 機械科 「モデルロケットを作ろう！」



⑥ 電子機械科 「風力発電 エコライダーを作ろう！」



⑦ ライフデザイン科 「オリジナルトートバッグを作ろう！」



⑧ フードデザイン科 「楽しく簡単、クッキング！」



8 参加者の主な感想

(1) 小学生

- きょうはおいもほりやパンジーをうえられてたのしかったです。こうこうせいのおねえさんたちがやさしくおしえてくれて、とつてもたのしいいちにちになりました。また、らいねんもぜつたいにきたいです。(①農業科に参加)

(2) 保護者

- ずっと本人が巣箱作りに興味があったので、今回体験が出来て本当に良かったと思います。なかなか家ではできない経験で、夏の良い親子の思い出となりました。また機会があれば参加したいです。(②森林科学科に参加)
- とてもわかりやすく教えていただき、子ども達も真剣に作る顔が見られて良かったです。ロケットが空高く上がったときはとても嬉しそうでしたし、見ていた親も思わず歓声をあげてしまいました。とても良い体験をさせていただきありがとうございました。(⑤機械科に参加)

9 成果と課題

(1) 成果

- 多くの申込みがあり、中には募集人数に対して3倍の申込みがあった講座もある。参加した児童は、高校生の支援を受けながら体験学習に楽しみながら意欲的に取り組む様子が見られた。学んだことを生かして、家でも作ってみたいという児童が数多くいた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- 参加者にとってより充実した講座になるよう、秩父農工科学高等学校と十分連携を図りながら次年度の計画を検討したい。